

-----10月05日----- 2015年

※ 今週のアウトルック (10/05~10/9)

先週は米国雇用統計が予想外の悪化となり、週末には大きくドル売りが進む場面がありましたが、NY市場終了までには、ある程度戻して終了しています。

今週は米国雇用統計の結果を踏まえ、年内利上げ観測の後退から、ドル売りが徐々に進む可能性が高いように思います。

先週ドル円は、雇用統計の悪化を受けて、119円を割り込む場面もありました。NY市場終了までにはある程度戻ってきているものの、年内利上げ観測が大きく後退したという見方が優勢になってきたようにも思います。

今週は、雇用統計の悪化が徐々に市場に浸透してくるような展開となる可能性が、幾分強いようにも思います。また、マクロ指標などの悪化には敏感に反応するような展開が予想されるようにも思います。

ドル円の予想レンジは117円から121円です。

先週ユーロ円は、米国雇用統計の悪化からドル売りが優勢となり、ある程度ユーロの買い戻しが入っているものの、積極的なユーロ買いには至っていないような状況です。

今週は、ユーロ円で売りを仕掛けるような動きが出てくるのかどうか、まずは焦点となりそうです。

年内利上げ観測の後退から、ドル売り、リスクオフムードが進行すると、ユーロ円も売り込みが進む可能性が高まりそうです。

ユーロ円の予想レンジは132.5円から135.5円です。

ポンド円は181円付近のサポートラインでなんとか下げ止まっている状況ですが、今週、もう一度180円以下にトライする可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは175円から185円です。

今週は米国年内利上げ観測の後退から、リスクオフムードが進む可能性があります。ドル円、クロス円ともこのところのサポートラインを割ってきた場合には注意が必要です。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。